

令和3年度第1回佐久市スポーツ推進審議会 会議記録（要旨）

日 時：令和3年10月19日（火）
午後7時00分から午後8時15分
場 所：佐久市役所 南棟3階会議室

出席者：佐久市スポーツ推進審議会委員8名（欠席1名）

教育長、事務局（社会教育部長、スポーツ課長、スポーツ課職員）6名

1 開 会

2 委嘱書交付

3 自己紹介

4 あいさつ

教育長あいさつ

5 議 事

（1）会長・副会長選出について

佐久市スポーツ推進審議会条例第5条に基づき、委員による互選
会長に雨宮委員、副会長に大塚委員

（2）佐久市スポーツ推進審議会について

事務局 資料1により説明

（3）第二次佐久市スポーツ推進計画の策定について

ア 詰 問

教育長より雨宮会長へ詰問

イ 骨子（案）について

事務局 資料2-1から2-3により説明。

委 員 国民スポーツ大会（旧名称：国民体育大会）の関係について佐久市
内には、アーチェリー競技の器具や練習会場がない状況で、早急に対
策を取った方がいいのではないか。

事務局 （特非）佐久市体育協会と連携し、アーチェリー競技の練習会場の
選定や教室の開催に向けて調整を行っている。

委 員 体育施設を集約化していくことに疑問を感じる。地域の住民が一層気軽にスポーツを楽しむためには、地域にスポーツ施設がなければならぬ。

佐久市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画のなかで、望月地区は、布施体育館、春日体育館、本牧体育館が望月総合体育館に集約されると新聞記事があつたため地元では反響が出ている。

事務局 各施設で経過年数が違うことから、利用状況やフィジカルコストを考えるなかで集約・廃止も考えているが、あくまで現時点の計画であり、5年ごとに見直しを行う。

委 員 子どものスポーツ推進は生涯スポーツのきっかけとなることから、学校を卒業しても、スポーツに関わっていけるようになることが重要である。

委 員 佐久市では、様々な大会やイベントが開催されていて子ども達も楽しみにしている。開催の情報などは、学校を通じて通知されることが多いが、学校によっては、子どもや保護者に話がうまく伝わっていない場合があるので、広く周知をしていただきたい。

委 員 市民の皆さんのが知らない情報があると感じるので、広報活動が重要と考える。

委 員 資料2-1の3ページにある「小中学生対象のスポーツ教室の延べ参加者数」の図り方はどのようにしているのか。また、小中学生対象のスポーツ教室をもっと周知していただくことで、親御さん（30代や40代）もスポーツ参加できるのではないか。

事務局 市のスポーツ課で主催しているスポーツ教室の内、小中学生の参加したものを集計した人数となる。

委 員 資料2-1の12ページで触れられているエストニア共和国との交流も大切であるが、大迫さんや萩谷さんなどの佐久市にゆかりのある、日本人のオリンピアンなどとの交流やイベントも是非盛り込んでいただきたい。

事務局 エストニア共和国と限定的な書き方になっているので、記載内容を改めて整理し、修正したものを再度、委員の皆さんに確認していただきます。

委 員 佐久市で地元のチームを応援し、皆でまとまることが大切と考える。

(4) その他

委 員 佐久市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画は、計画期間が長すぎるので、短期間での計画を策定できないか。長野市や上田市では5～10年の期間の計画としているので参考としてほしい。

スポーツを楽しむためには、施設の充実を図っていく必要があるため、

是非検討していただきたい。

また、オリンピックで話題となったスケートボードやスポーツクライミングなどについて、佐久市でも先を見据えて体制を作ることが重要ではないか。

事務局 佐久市公共施設等総合管理計画は、長期を見据えた計画となっており、短期の計画（3年）として実施計画を策定しているので参考にしていただければと思います。

スケートボードはミレニアムパークに整備した場所があり、スポーツクライミングは太田部に民間施設がある。

スポーツクライミングについてはスポーツ教室を開催し、競技の普及を図っている。

委 員 e スポーツが話題となっており、賛否両論ありますが、スポーツとして考えるのか、広い視野で検討をしていただきたい。

6 その他

事務局 資料4により説明

7 閉 会

※備 考

傍聴人 なし